



## 開催報告

### 1. 開催概要

日時 2月24日(土) 12:30~19:00(懇親会 19:00~20:30)

場所 横浜開港記念会館 6号室

参加者 64名(審査員、スタッフを含む)

ハマコン賞受賞団体 横浜市立大学 環境ボランティア Step Up↑ (左)

会場賞受賞団体 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会(右)



## 2. 目的とハマコン 2017 のテーマ

### 目的:

今日、横浜には熱い想いで様々な環境活動に取り組んでいる学生団体が多く存在します。しかし、団体同士の交流や、学外の機関との交流の場は少なく、活動が閉鎖的になりがちです。また、環境活動が定着していく一方で、活動が受動的に行われ、形骸化している風潮も存在します。

そこで本企画では、横浜市内で活躍する学生団体を集め、コンテスト形式での活動内容に関する発表会を行いました。コンテストの審査員並びに本会の参加者には、行政、教育機関、企業、NPO/NGO の関係者を募りました。各学生団体の活動内容を発信することで外部との交流を活発にし、閉鎖的な視点の脱却を図ります。そして、規模の拡大と団体の垣根を越えた交流を図ることで、参加者同士の協同を含め自発的な新企画の創出を行うことを目的とします。

### テーマ: 「志 ～あなたの『わくわく』は何ですか?～」

充実した団体とは何でしょうか?

今年度私たちは、『やりたいこと』を明確にして活動していることが充実した団体に必要な要素のひとつだと考えました。

自分の「志」を再確認し、自団体を見つめ直すきっかけとしてほしい。他団体の「志」を見て、刺激を得てほしい。そして、それらを活かして、より一層充実した活動を継続的に行ってほしい。

そんな想いで、ハマコン 2017 のテーマは「志 ～あなたの『わくわく』は何ですか?～」に決定いたしました。

このテーマの実現のために、私たちは様々な工夫を盛り込みました。

出場団体の皆様・審査員の皆様にハマコン開催前に事前にお伺いし、今回のテーマについてご理解を得たこと。

例年「環境知識の提供」をテーマに行っていた特別企画の趣向を変え、参加者一人ひとりの『わくわく』を大切にしたいワークを行ったこと。

テーマに沿って審査基準を考えたこと、審査員としてどなたをお呼びするのが一番いいか考えたこと。当日記入していただく名札に「自分の『わくわく』」を書く欄を設けたこと。出場団体の皆さんに、志が確認できたかどうかアンケートでお伺いしたこと。

結果、多くの方に「自団体の志をふりかえるきっかけとなった」「他の参加者の熱意を感じて刺激を受けた」と言っていました。

「みんなが『わくわく』するようなハマコンになったら、きっと楽しい。」

今年度のハマコン 2017 は、そんな若者連盟メンバーの『わくわく』が詰まったイベントになりました。

### 3. 参加学生団体

東京都市大学 ISO 学生委員会



(団体連絡先:ycisosoc@gmail.com)

フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会



(団体連絡先:ferris.ecocampus@gmail.com)

明治学院大学 エコキャンパスミーティング



(団体連絡先: ecocampus.meeting@mail.com)

横浜市立大学 環境ボランティア StepUp ↑



(団体連絡先: stepup\_615@hotmail.com)

#### 4. 「第 1 部:コンテスト(ハマコン賞)」 審査員

- ・目白大学 人間学部児童教育学科教授 石田好広様
- ・横浜市 環境創造局 政策調整部 政策課 環境プロモーション担当課長 小川 久美子様
- ・一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 関澤春佳様
- ・NPO法人アクションポート横浜 理事 高城芳之様
- ・横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室 室長 戸川孝則様

※50音順

#### 5. 「ハマコン賞」について 審査員の評価合計点により決定

<賞品> 横浜市資源リサイクル事業協同組合様より  
環境絵日記展のブース出展権+その活動費上限一万円

##### <審査基準(5 項目)>

##### 1. 理念

- ・ 活動の目的が明確であるか...5 点
- ・ 目的の達成のための手段が妥当であるか...5 点

##### 2. 影響力

- ・ 他団体(企業、行政、NPO 法人、地域団体等)と連携を行って活動を展開しているか ...5 点
- ・ 団体メンバー内で同じ目的をもって(協力して)活動する工夫ができているか ...5 点

##### 3. 将来性

- ・ 計画的に活動しているか(年間スケジュール、予算、組織形態など)...5 点
- ・ 持続可能な活動展開をしているか(課題を分析できているか、PDCA サイクルを回せているか)...5 点

##### 4. 成果

- ・ 目的・目標の達成が成されているか ...5 点
- ・ 具体的な数値や評価として成果を得られているか ...5 点

##### 5. 熱意

- ・ 熱い思いを持って活動しているか(発表方法・デザインなども通して) ...5 点
- ・ 今年度、自分たちだからこそできた活動をしているか...5 点

合計 50 点

## 6. 「会場賞」について

会場の得票数により決定

＜賞品＞ 中華街パーキング協同組合様より  
中華街専用ギフトカード 1000 円×10 枚



### 【投票の方法】

- ① 出場団体は一団体につき5票、一般参加者は一人につき1票を  
「あなたがやってみたいと思った活動」を行っている/行おうとしている団体に投票。
- ② 獲得点数が最も高い団体を会場賞の受賞団体とする。

## 7. 「エールシート」について

ハマコン全参加者(審査員、学生団体、一般参加者)が各団体に向けてメッセージを書いた。

Yell Sheet To. 

①すこいと思ったところ ②自分の団体とつながりそう/活かそう/なところ ③新規活動の提案...  
など、メッセージを自由にお書きください

(審査員の皆様は採点の理由をお書きください)

From. 

連絡先: \_\_\_\_\_

エールシート

## 8. 「第 2 部:特別企画」について

### 目的:

- ①「参加者各々の志や関心」の確認・それらが実現する循環過程の実感
- ②新たな活動の創出や今までの活動の更なる発展

### テーマ:「あなたの『わくわく』は何ですか？」

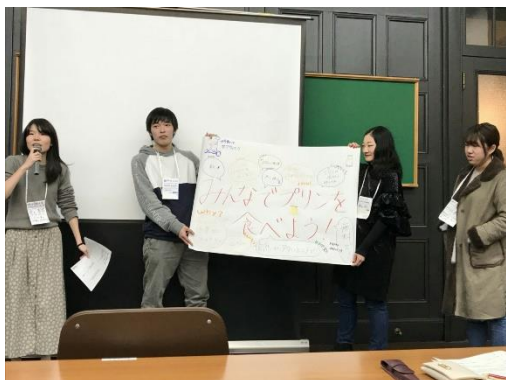
横浜市内で環境活動を行う大学生の話を別企画で調査してみると、横浜市内全域で大学生による環境活動が衰退しているという現実を知るに至りました。

そのことをきっかけに、学生活動をしている一人一人の大学生が楽しく活動に臨んでほしい、強いては周りの大学生を巻き込んで大きな活動が横浜市内で起こってほしいと考えました。その結果を踏まえて、学生たちが各々の熱意や可能性を維持していくために、最後にはその想いが実って各人の「楽しみ」が実現していくために、私たちはまず、企画者たちが『わくわく』を実現するための思考プロセスを踏まえる必要があるのではないかと考えます。

ハマコン2017の特別企画では、レクリエーションを通して『わくわく』が実現する循環過程を実感してもらい、当イベントのテーマである「各々の志や関心」を重要視していただく。後日各人で「志」を再確認してもらっては、一人一人が自らの・団体の可能性を見出し協力し合い、新たな活動の創出や今までの活動の更なる発展が今後行われていくことを図ります。

### 概要:

- ① 参加団体、一般参加者混合でグループに分かれる(計5グループ×各7人前後)
- ② ワークの実施
- ③ 「グループ全員の『わくわく』が実現する企画」について各グループで考え、発表



特別企画発表の様子

### ワークシート


**①自分のわくわくを知ろう!**

ヒント

- ・どんなイベントを企画したい?
- ・どういうイベントに行きたい?
- ・自分が参加者ならイベントで何をしたい?

**②同じグループの人たちのわくわくをメモしておこう!**

**\*あなたが気になったイベント情報をメモしておこう!**



特別企画ワークシート

## 9. 当日の日程

12:00～12:30 受付開始

12:30～13:00 開会式

### 第1部

13:00～13:40 グループ発表 前半(プレゼン 7 分の後質疑応答 5 分)

13:40～13:55 休憩

13:55～14:35 グループ発表 後半

14:35～14:45 休憩

14:45～15:50 グループセッション

(①若者連盟 OBOG が「メンター」として 1 団体につき 1 人参加 15 分×1 回

②ワールドカフェ方式, 各団体テーブルにて 課題解決 15 分×2 回)

15:50～16:10 共有タイム

16:10～16:25 ラストアピール

(グループセッションの結果共有及び受賞への意気込み 各団体 2 分)

16:25～16:40 休憩

### 第2部

16:40～18:00 特別企画「あなたの『わくわく』は何ですか？」

18:00～18:30 閉会式(ハマコン賞・会場賞の発表および授与式、閉会の挨拶など)

18:30～19:00 集合写真撮影・懇親会セッティング

19:00～20:30 懇親会(同会場にて 参加者交流会)

20:30～21:30 片づけ・撤収



グループセッション①の様子



## 10. 懇親会

<参加費> 学生 700 円 社会人 1500 円

<開催場所> ハマコン 2017 と同様

<協賛 (ご飯のご提供)>

・中華街パーキング協同組合様

## 11. アンケートのご意見(抜粋・一部補足を加えました)

・たくさんの目標をバラバラに持つのではなく、一つの大きな目標をたて、そこに達するまでの筋道となるような小さな目標の立て方が必要だと思った。(明学 2 年)

・学生でしかできないことをどんどんやっていきたい！と思いました。自分で抱え込まず、協力して頼るということも大事だなと思いました。(フェリス 2 年)

・今の団体に足りないものが何か色々なアドバイスをもらえてよかった。(都市大)

・外側からの視点で自分の団体を見つめ直せるから(来年度も参加したい)。(横市 1 年)

・最後に代表の言った「ワクワクする」を日常的にできるように見直したい。(一般参加者)

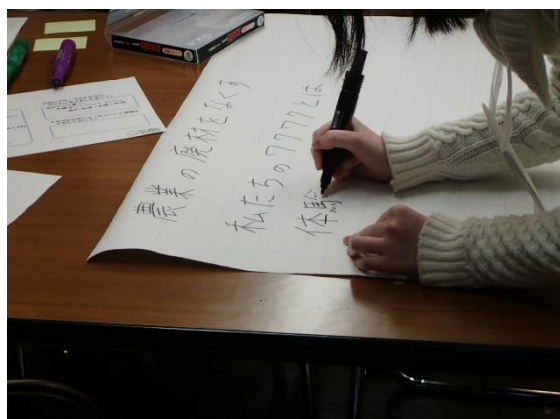
・審査員の講評が非常に良かった。このおかげで今日一日のメッセージが伝わった。(一般参加者)

・審査員が豪華！次は企業の方も呼べるといいネ！(若者連盟 OBOG)

・メンターとして出場団体を見て、過去の自分の(感じていた)壁と同じ壁を感じているなと思いました。(若者連盟 OBOG)

…貴重なご意見の数々、有難うございました。  
今後の活動改善に向け取り組んでゆく所存です。

## 12.当日の写真



### 問い合わせ

RCE 横浜若者連盟

HP: <https://wakamonorenmei.jimdo.com/>

Email: wakamonorenmei@gmail.com

Facebook、Twitter のアカウントもあります。

(新代表 横浜国立大学 新4年 樋口智大)